

(様式 2)

大阪市立吉野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進 1 人権教育】 ●全国学力学習状況調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80% 以上にする。(R6:71.6%) ●年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R6:0.9 %) ●年度末の児童アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(R6:88.6%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 ・ いじめアンケートなどを通して、「いじめの芽」を早期発見し、解決につなげる。 ・ 区役所、SC、SSW、こ相、警察などの関係機関と連携し、個別の事案についての情報共有と改善に向けた検討を行う。	
指標 ・ いじめアンケートを年間 7 回実施し、アンケートの回答に上がった問題等について、1 週間以内に聞き取り・指導を行う。 ・ いじめ事案は、原則その日に、学年、管理職、人権教育部に報告する。 ・ 学期に 2 回以上、外部関係機関と連携し個別事案の情報共有、改善に向けた検討を行う。	
取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 ・ 安心して過ごせる学級づくりのために、仲間づくりの取組を進める。 ・ 全校で、自尊感情・自己肯定感を高める取組を実施する。	
指標 ・ 全ての学級で、全ての児童が認められる取組を、年間 3 回以上実施する。 ・ すべての学級で、学期に 1 回以上、自己肯定感を高める取組を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】	
【取組内容②】	
次への改善点	
【取組内容①】	
【取組内容②】	

大阪市立吉野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進 2 生活指導】 ●学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。(R6:91.9%) ○年度末アンケートで、「誰にでも自分から進んで気持ちの良い挨拶ができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 91.3%以上にする。(R6:91.2%) ○年度末アンケートにおける「たんぼぼ班活動や学校の行事などの人との関わり合いを通して、楽しく学校生活を送ることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、87.5%以上にする。(R6:87.4%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 日常的に、きまりを意識した生活ができるように指導を継続する。	
指標 ・ 4 月に全教職員で「きまり」を共有し、年間を通して継続して指導する。 ・ 全ての学級で、月に 1 回以上、きまりが守れているか振り返り、改善する機会を設ける。 ・ 年度末、児童の実態を踏まえて「きまり」を見直す機会を設ける。	
取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 ・ あいさつ週間など、児童自らがあいさつの大切さに気付き、誰にでも自分から進んであいさつをしようという気持ちを育てる取組を実施する。	
指標 ・ 学期に 1 回以上、運営委員会等を中心に、あいさつ週間の取組を行う。 ・ 全ての学年・学級で、あいさつ週間に向けて取組を行う。	
取組内容③【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 高学年の責任感やリーダーシップを養うとともに、誰とでも協力して仲良く助け合う心を養うため、たんぼぼ班活動など縦割り班活動の内容を工夫する。	
指標 ・ 集会の計画等に沿って、全ての子どもが楽しく参加できる集会等の取組を行う。 ・ 年間 2 回以上、子どもが主体的に参加できるたんぼぼ班の活動を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】
次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立吉野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上 1 学力向上】 ●小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント以上向上させる。 ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」に最も肯定的に回答した児童の割合を 35.9 % 以上にする。(R6:35.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none">主体的・対話的で深い学びの視点で授業を実践する。個別最適な学びと協働的な学びの実現のために、算数科を中心に授業研究に取り組む。	
指標 <ul style="list-style-type: none">全ての学級の国語科・算数科の授業で、児童自身がめあてをつかみ、自分の考えをもち、交流し、何が分かったのか振り返る場面のある授業を実践する。全ての学年で算数科の研究授業を行い、招へいた指導者による討議会を行う。中学年以上の全ての学級で、週に 1 回以上 ICT を活用して、個別最適な学びのある授業を行う。	
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none">基礎基本の定着のため、中学年以上を対象に、習熟の状況や個別の課題に応じた習熟度別少人数授業や TT 等を行う。	
指標 <ul style="list-style-type: none">中学年以上の全ての学級で、学期に 1 単元以上、習熟度別少人数授業を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】	
【取組内容②】	
【取組内容③】	
今後の改善点	

(様式 2)

大阪市立吉野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上 2 体力保持増進】</p> <p>●全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65.2%以上にする。(R6:65.1%)</p> <p>○児童アンケートにおける「健康的な生活をしている」という項目に、最も肯定的な回答をする児童の割合を、60%以上にする。(R6:58.3%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業を中心に、運動に親しむ機会を増やす。 ・ 学校全体で、1 学期・50m 走、2 学期・大縄チャレンジ、3 学期・耐寒駆け足等の時間を設定する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学級で、週に 1 回以上、体育の授業以外に運動に親しむ機会を設ける。 ・ 1 学期・50m 走、2 学期・大縄チャレンジ、3 学期・耐寒駆け足等を計画通り実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症対策や感染予防など健康的に過ごそうとする意識を高め、基本的な生活習慣の維持・発展を図るため、学級活動や保健指導を軸に指導を行う。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 1 回以上、健康委員会、給食委員会等の児童による啓発活動を行う。 ・ 年間 3 回以上、健康に関する強調週間を設ける。 ・ 保護者啓発のため、強調週間の取り組みや結果を保健だよりなどで、保護者と共有し、保護者の啓発につなげる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】	
【取組内容②】	
次年度への改善点	

大阪市立吉野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実 1 教育 DX 生涯学習支援】</p> <p>●授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の 50%以上にする。(R6:2.1%)</p> <p>○本市調査における図書の貸し出し冊数(児童一人当たりの年間貸し出し冊数)」を 33.7 冊以上にする。(R6:33.6%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力を発揮できるようにするため、1人1台端末を活用する機会を増やす。 ・教員対象のICT活用研修を行い、教員のスキルを向上させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上の全ての学級で、毎日、「心の天気」を入力する機会を設定する。 ・中学年以上の全ての学級で、毎日1回は授業で1人1台端末を活用するようにする。 ・1年間2回以上、教員対象にICT研修を実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書と連携して、児童が様々なジャンルの図書に興味をもつようにする。 ・教科学習の中で図書室を活用する。 ・図書委員による読書推進活動に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学級で月に1回以上、司書教諭と連携して、読書を推進する取組を行う。 ・全ての学級で学期に1回以上、教科学習で図書室と連携した学習を行う。 ・学期に1回以上、図書委員による読書推進活動を行う。 	
<p>・年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度の改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立吉野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実 2 働き方改革】 ●「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 82.36%以上にする。(R6:82.35%) ○校内の教職員アンケートにおいて、「会議や行事などの調整により、働きやすい環境になっている」という項目に対し、肯定的回答をする教職員の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none">・ 会議や行事の見直しを進め、教育活動の充実と働き方改革の両立を図る。・ 時間外勤務月 45 時間を達成するため、1 日 130 分（始業前 30 分・定時後 100 分）を上限として勤務時間自己管理シートを設定する。（時差勤務に実施により個別で時間設定が必要）	
指標 <ul style="list-style-type: none">・ ゆとりの日を月 2 回以上設定し、目標時刻に帰宅するようにする。・ 年度末に、会議や行事の内容と実施回数、時期等を振り返る。・ 全教職員が、勤務時間を設定し、毎月自己管理する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	